

## 「ことば」と「社会」、「人間」 —外国語としての「日本語」を観察しながら—

准教授 黒崎典子

## 1. 研究内容

日々何気なく使っている「ことば」について、観察してみたことはありますか。自分の母語について意識をすることはこれまでほとんどなかったと思いますが、立ち止まって振り返るとわからないことが意外と多くあると思います。もし、外国から来た隣人に「日本語教えて!」と言われたら、あなたはどのようにでしょう。外国人にとって日本語は外国語ですので、日本語を教える場合には規則や意味等、自分が意識せずに身につけてしまったものを再度客観的に整理しなければなりません。それは、常識と思っていたことを客観的、批判的に見つめ直すことができる姿勢を身につけることになるに違いありません。そして、自分が使う「日本語」について良く知り、敏感になることは、新しい世界が開けてくるだけでなく、将来、様々な人と関わり、公平な態度で生きていくために大切なスキルの一つとなります。「日本語」とそれをとりまく「社会」、「人間」に関して、仲間と一緒に話し合いながら研究を進めましょう。

## 2. ゼミの進め方

## 《2年次》

外国語としての日本語を見る目を養うために、「日本語教育における日本語」について学びます。それに伴い、日本に住む外国人、海外の日本語学習者についても知識を深め、考えていきたいと思えます。春期休暇中に集中討議を行う予定です。

## 《3年次》

2年次の学びをもとに研究テーマを絞っていき、ディスカッションをしながら研究を進めます。参考文献の講読や研究対象の分析を行います。夏期休暇中に合宿、春期休暇中に集中討議を行う予定です。

## 《4年次》

修了論文執筆に向けて、各研究テーマをもとに、発表、ディスカッションをしていきます。夏期休暇中に合宿、春期休暇中に集中討議を行う予定です。

## 3. 教材

入室後に適宜指示します。

## 4. 成績評価の方法

発表、レポートの他、グループワーク、ディスカッションを含む、授業やゼミ活動への参加姿勢等、総合的に判断します。

## 5. ゼミ入室試験（選考方法）

選考方法については、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

## 6. その他・志願者へのメッセージなど

新しいことや知らなかったことに対して、驚きや喜びを感じながら意欲的に取り組める姿勢を望みます。自分の母語を使って、外国語としての日本語を使う人たちとの相互理解を目指しているため、公平性や多様性に対して理解したいという人を希望します。明るい人、積極的な人が向いています。

これまで留学生と日本語で交流する「日本語カフェ」を企画運営してきましたが、これは授業カリキュラム内のものでなくゼミ生がゼミ活動として自主的に行っているものです。新たに入る学年においても実施希望があれば、上級生とともに喜んで実施を支援します。

留学生の入室も歓迎します。JLPT（日本語能力試験）N3以上の交換留学生を受け入れることがあります。